



天理 奈良ツアー 八木 壮一会員

「天理図書館 古典の至宝」

1 期から 3 期展示がありますが、私たちは 2 期の展示を見学に行きます。一部の展示品をご紹介します。

播磨国風土記という国宝があります。風土記は 5 ヶ国しか伝存していません。山・川・原野等の名称の由来や旧聞を書き記し天皇に献上した伝承記事の宝庫と言っています。原本はありませんが、伝本の来歴を訪ねればすべて本書にたどり着く、平安末期の書写の唯一の粗本です。

古語拾遺 嘉禄本は重要文化財です。古語拾遺は神典として尊ばれたため多く伝わりますが、その中でもこれは一番古いものです。日本書紀など正史に遺漏の古代の所伝、氏族の伝承を考える上で多くの示唆に富み大事にされています。

明月記 嘉禄 3 年 8, 9 月記 重要文化財。藤原定家の日記。定家が役職をおりた 66 才の時のもの。家の伝承を伝える故実の索引などはありません。しかし探究心は強く、9 月 27 日の条には故実家として名高い藤原実資（さねすけ）の日記『小右記』を熱心に勉強したため夢にまでみたと記しています。

類聚名義抄（るいじゅみょうぎしょう）は漢和辞書で国宝です。漢字・漢語を部首により類聚した音訓漢和辞書です。平安末期成立の一番古くて揃っている書物です。私どもが今度出版する中では、一番期待されている本です。高精細カラーで厳密に校訂して出版するので、原本を見なくても研究を進められます。鎌倉末期の写本です。

世俗諺文（せぞくげんぶん）は諺集で三巻あったものが一巻しか残っていません。これも重要文化財です。この諺は藤原道長が息子、藤原頼道ために集めさせたもので、今でも通じるものがたくさんあります。鎌倉初期の写本です。

源氏物語 池田本は、池田亀鑑は源氏物語をたくさん収集し、多くが天理図書館に収蔵されています。そもそも紫式部自筆の本は残っていません。紫式部が亡くなってから 100 年ぐらい後、鎌倉期のものは断片的なものばかりで、これは鎌倉時代の末期の殆どが藤原定家の写した青表紙本といわれる本です。この様に揃っているのは大変貴重だと言われて、底本になって行くでしょう。

奈良絵本は、安土桃山時代から江戸時代初期に制作された絵入り彩色本です。江戸時代の大名家の嫁入りの時に持たせたようなものとは違い、天理にあるのは古く絵が稚拙で面白いものがたくさんあります。奈良絵本は剥落の危険性があり閲覧や展覧会への貸出などを制限してきました。昨年、天理図書館で奈良絵本だけの展覧会を開催した時には、現館長が 15 年館長をしておりますが、今日初めて見ました、と挨拶されておりました。今回かなりの数の奈良絵本が展覧されますが、今後、このような形での展示はないだろうと思います。

じやうるり（浄瑠璃）は義経を主人公にした物語です。**ひだか川**という冊子本です。安珍・清姫伝説の舞台としても有名です。安珍（賢学）は吉野に逃れるが大蛇になった清姫に最後は食べられてしまうという話です。

虫妹背物語（むしいもせものがたり）は、玉虫姫に蟬が恋をして、コオロギがとりなして結婚できます。ただ、キリギリスやヒグラシは失恋して出家する物語です。

連歌俳諧

賦浄土要文連歌百韻（ふじょうどうようぶんれんがひゃくいん）は、後奈良天皇と三条西公条が催した広明和尚追善のために催した連歌百韻。料紙は藍・紫内曇紙の金銀泥で連華等を描いた美しい懷紙です。後に卷子に仕立てられたものです。

西鶴自画賛「神の梅」西鶴自筆物はほとんど残っていません。大変珍しいもので、見かけたら是非声をかけて下さい。

芭蕉の自筆本「野ざらし紀行」は、芭蕉が東海道から伊勢、伊賀、大和、尾張などを吟行した紀行集。

芭蕉画竹図 芭蕉の生前の姿をよく伝えている。江戸の芭蕉の生活を支えた魚問屋主人杉風（さんふう）が描いた。画中竹の図は芭蕉筆と言われる。

「朝顔に」発句画賛 芭蕉賛一蝶画。画中小色紙は自筆。以上は鯉屋杉風伝来。

蕪村集ですが、蕪村の本物は少ないです。これは一昨年、蕪村門人の百池という人が所有していたものを天理図書館がまとめて入手しました。これは**高德院俳句会**のもの、次は**月並発句帖**も蕪村のもので。以上が天理図書館至宝展のご案内でした。

天理図書館創設者の二代真柱様、続く三代様も奈良 RC の会員です。二代真柱さんは大変な読書家で本が好きでした。昭和 4 年、東京大学卒業後、天理教の原点の一つ「おふでさき」を研究しているうちに、幕末から明治にかけての資料が必要と考えられて古典籍を集められ始めました。戦中戦後に旧家の資料が放出されましたが、海外流出から守るためにも買い求めました。

天理奈良ツアーは、10/25、11:20 近鉄京都駅集合、そこから特急で西大寺駅、西大寺から天理に行きます。65 歳以上の方はジパング会員になられれば 3 割引になります。昼食は天理参考館近くのうなぎ店に行き、その後、天理参考館で開催の「天理図書館 古典の至宝」展を見ます。天理が布教のために集められた全世界の民族関係の資料が多数ある天理参考館常設展も是非ご覧ください。スマホで音声ガイドが聞けます。その後奈良ホテルにチェックイン、夕食は私が奈良で一番と思っているお店に行こうと思っています。26 日は朝食の後、奈良を散策、12 時 30 分からの奈良 RC の例会に出席します。

閉会点鐘

牛島 聡会長

今後の予定

10/ 4	「友情ネットプロジェクト」天谷 武様
10/11	未定
10/18	夜間例会（於）Zio pippo 18 時
10/25	休会
11/ 1	「演題未定」元衆議院議長 江田 五月氏 オープン例会
11/ 8	「米山奨学生として」ゴ ティ タオさん 米山財団設立 50 周年記念 DVD 紹介
11/13（月）	中央分区インターシティミーティング
11/15	休会（9/13 に振替）
11/22	会員卓話

創 立/1993 年 10 月 13 日(平成 5 年)
事務局/〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-2-2
グラントメゾン九段 906 号
Tel: 03-3288-7300 Fax: 03-3288-7400
E-mail: ocha-rc@sirius.ocn.ne.jp
<http://tokyo-orc.jp/>

例会日 毎週水曜日 12:30～13:30
例会場 ホテルグランドパレス Tel: 03-3264-1111
会 長 牛島 聡 幹 事 青木 隆幸
会 報 山下 秀一(委員長) 山田 丈夫(副委員長)
土居岩生 木宮雅徳 小林大介 永井一史(委員)